

Osaka Medical Practitioners' Association

2010年2月 No.93

勤務医LETTER

発行 大阪府保険医協会 <http://www.oh-kinmui.jp/> E-mail web@oh-kinmui.jp
〒556-0021 大阪市浪速区幸町1-2-33 ☎06-6568-7721(代) FAX06-6568-2389

診療報酬改定新点数説明会

3月25日(木)・3月27日(土)
会場はいずれも 中之島・中央公会堂
※詳細は入場引換券をご参照下さい。

勤務医会員の先生には後日、入場引換券をご送付いたします。

医師の“非常識”

勤務医部担当副理事長 川崎 美榮子



新年早々、中医協委員で全国公立病院協会の代表である邊見公雄先生のお話を聴く機会があった。そのお話の中で興味深かったのは、「医者には非常識な人が多い」と言った宰相が居たが、そのとおり

である。“非常識”であったが故に夜も寝ずに、来る日も来る日も働いたのであるというくだりであった。確かにかつて勤務医はかなり安い給料で、重症患者のための泊まり、当直、産直、緊急手術な

どをこなしてきた。家族に申し訳ないと思いつつも、盆も正月もなく働いた。患者さんやご家族の感謝を感じると、つらさも吹っ飛んでいた。いくつかの医師の過労死事件があったり、外科系の治療

で結果が悪ければ逮捕されるという事態が起こって、勤務医の意識は変わってしまった。どういうふうになったかは、まだよくつかめない。年末の急病診療所に勤務して、急性腹痛のお年寄りの送り先がなくて困ってしまった。当直のドクターに平身低頭してお願いしたが、大阪でもこの状況である。虫垂炎でも助からないということが起こりうるだろう。“非常識”に働かなくても、後送の病床が確保できる医療制度を再構築しなくてはなら

ない。再び、邊見先生の言葉に帰ろう、「ガゼを分厚く使う看護師さんは駄目、自分のしている手術の点数を知らない外科部長は駄目」つまりはコスト意識がなければ駄目ということだろう。医学を学び働くだけでなく、社会の構成員としてきちんともの言える勤務医になるためには、日本の皆保険制度を知っていただくことが避けられない。保険医協会の勤務医部会は今年、そのお手伝いをするためにHPを充実させるよう頑張りたい。



眼内レンズ挿入患者の Quality of Vision

奈良県立医科大学・眼科 竹谷 太

眼球光学系において、収差と光の散乱が結像状態に影響を及ぼすことが知られている。収差については、低次の収差である球面(遠視・近視)や乱視成分だけでなく、高次収差の代表的な成分である球面収差やコマ収差が大きくなることにより、結像特性が著しく低下する。しかも、屈折矯正手術のLASIKの普及により、より正確に眼球全体の光学特性を評価することが求められるようになった。日本では、2001年12月に眼球に高次収差の測定を行う波面センサーが登場した。私は本機を用いて、種々の眼内レンズ(IOL)挿入眼に対して眼球高次収差の測定を行い、それまで主に使われていた球面IOLについて、IOLの光学設計の違いにより、眼球の高次収差、特に球面収差の成分に違いが出ることを示した。その後非球面IOLの登場により、より積極的に眼球全体の球面収差を減らすことが可能になったが、球面IOLの選択する場合IOLの光学設計に注意が必要であることを示した。

また、IOL挿入眼ではIOLの傾きや偏位が乱視に影響することが知られていた。私はIOL挿入眼に対して、高次収差だけでなくIOLの傾きや偏位量の測定を行った。IOL挿入眼において、IOLの偏位よりも傾きが高次収差の成分であるコマ収差成分に有意に正の相関があり、傾きが大きくなるほどコマ収差の成分がより大きくなることを示した。IOLの偏位や傾斜は乱視だけでなく、高次収差にも影響を及ぼすことを報告した。

これらのことから、球面IOLを使用する場合においても、より球面収差の小さなIOLを選択し、IOLの傾きや偏位を少なくすることで、眼内レ

ンズ挿入患者の Quality of Vision があがることを示した。

最近では、高次収差の増加するLASIK術後に横方向の動体視力を測定し、スポーツビジョンと高次収差との関係について研究しているところであり、一部の成果については日本眼科学会等で発表を行った。

参考文献

Taketani F, Matuura T, Yukawa E, et al. Influence of intraocular lens tilt and decentration on wavefront aberrations. J Cataract Refract Surg. 2004 Oct;30(10):2158-62.

Taketani F, Yukawa E, Yoshii T, et al. Influence of intraocular lens optical design on high-order aberrations. J Cataract Refract Surg. 2005 May;31(5):969-72.

竹谷 太. 眼高次収差がスポーツビジョンに与える影響～屈折矯正手術レーシックによって引き起こされる眼球高次収差と動体視力の関係について～財団法人上月スポーツ・教育財団スポーツ研究助成事業 第5回(2007年)助成対象



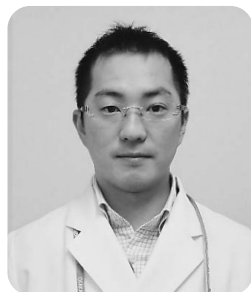
勤務医フォーラム

<http://www.oh-kinmui.jp/>

「勤務医フォーラム」は勤務医の皆さんの交流の場です。「勤務医 LETTER」に掲載された投稿や、これまでの調査活動なども掲載しています。また、各種相談にも応じています。4月からは新しい企画も入り、リニューアルします。ご期待下さい。



Voice



医学部定員増より、 まず市民への啓発

大阪医科大学 健康科学クリニック
向坂 直哉

梅田からJR新快速にて15分、高槻駅ナカの「大阪医科大学健康科学クリニック」に、後山尚久所長代行のもと平成21年6月の開設時より勤務しております。これまで循環器科医として阪大病院や幾つかの国公立病院で重病人の治

療に従事してきましたが、当施設では予防医学をテーマとした東西融合医療を提供しています。関東では東京大学や慶應義塾大学をはじめ、予防医学を重視した大学併設大規模医療センターができていますが、関西では初めてのよう

です。さて、保険医協会入会は5、6年前で親族の勧めであったと記憶しています。当初は保険加入目的でしたが、その後定期刊行物や講習会を医療情報の資源として活用するに至りました。今後は情報交

換の場としても活用したいと考えております。

昨今話題の勤務医問題についてですが、私も月5～8回の当直に加え、月10～20回程度のオンコールに対応、徹夜診療で疲弊しながら、翌日は心カテなどを行ってまいりました。医師も患者も文字通り命がけです。もちろん入院受持ち患者もありますので24時間365日休まることはありません。このような状況を改善すべく色々な動きがありますが、その一つに医学部定員増員があります。果たして文科省の目論見通りに現場環境を改善させられるでしょうか。答えは否と思われま

のコンビニ受診や安易な救急要請に振り回され、本当に救急医療が必要な患者に対応することができなくなってきている訳ですから、市民への啓蒙が先決です。医学部定員増員はその次の議論だと考えます。

医療システムの構築を担う政府や厚労省は国民の生殺与奪の権を握っているといっても過言ではありません。特に新政権には機能不全に陥りつつある救急医療現場を直視し人道に反しない判断をしていただきたいものです。

Voice

伝message言board板

求人・病院・診療所

- ▶**求** 消化器内科常勤医・整外非常勤医 / 地下鉄谷町線「太子橋今市」駅西 / 徒歩5分 / 大阪市旭区大宮5-4-24 / 藤立病院 / 委細面談 / 問合せ・06-6955-1100 (事務長)
- ▶**求** 婦人科非常勤医 / 検診 / 西梅田・北新地駅 / 徒歩5分 / 月・火・金・週1～2回も可 / 午前・午後のみも可 /

- 委細面談 / 問合せ・06-6454-4108 (事務長)
- ▶**求** 整形外科無床診療所院長招聘 / 当院堺市内 / 交通至便 / 委細面談 / 問合せ・06-6599-0115 (羽根)

テナント物件・貸医院・継承

- ▶テナント物件 / 浪速区難波中3-14-8 / 浪速区役所真正面 / 地下鉄難波駅

- / 2階・3階 / 各35坪 / 1階心療内科 開業中 / 問合せ・06-6633-2133 (八重垣)
- ▶テナント物件 / 枚方市都丘バス停スグ / 2階 (40坪)・3階 (22坪) / 眼・心内・小児科等適 / 現整・耳・婦等盛業中 / 問合せ・072-847-0596 (中塚)
- ▶テナント物件 / 城東区鳴野 / JR京橋歩8分 / 20坪 / 皮・眼・心内・最適 / 問合せ・06-6961-0700 (梅田)
- ▶貸医院 / 泉北高速線「深井」駅 / 徒歩5分 / 36坪 / 駐車場3台有 / 全科対応可 / 問合せ・072-254-3574 (キシモト)
- ▶貸医院 / 南海高野線「北野田」駅 / 徒歩5分 / 鉄筋2階1戸建、土地43坪

- / 内・児・泌・皮・精神適 / 即開業可 / 問合せ・072-236-1434 (奥村)
- ▶貸医院 (継承可) / 近鉄「荒本」 / 徒歩3分 / 5階建1階54坪、2階31坪の2件 / 職員住宅可 / 近調剤薬局有 / 内児眼耳皮秘精外整美外適 / 塔屋電飾看板可 / 駐車場有 / 介護関係オフィス可 / 06-6789-8172
- ▶貸医院 / 近鉄布施駅前 / 鉄骨2階建40坪 / 耳鼻科諸設備揃 / 即開業可 / 問合せ・06-6725-7021 (太田)
- ▶継承医院 / 港区夕凧バス停前、地下鉄「朝潮橋」 / 徒歩5分、立地条件最高 / 鉄骨2階建50坪築12年 / 内科他最適 / 内装諸設備完 / 即日開業可 / 問合せ・06-6574-1526 (藤田)



「患者思いの病院が、なぜつぶれるのか？」
渡辺さちこ著
幻冬舎 2009年12月21日初版第一刷

業務改善すすめる全ての医療人に役立つ内容

評者 原田 佳明
小松病院 院長 (小児科)

「患者思いの病院が、なぜつぶれるのか」とのタイトルの下に「Hospitals with missions must

survive!」、帯封に「本当にいい病院が生き残る時代がやってきた」、「No Margin, No Mission」とある。患者思いを言い訳に、使命感もなく、利益を考へることもなく、漫然と医療を行っていませんかとの問いかけが表紙から聞こえてくる。

著者は看護師を経てミシガン大学で医療経済学を学び、現在は病院経営を指南する株式会社グローバルヘルスコンサルティング・ジャパンの代表取締役を務める医療コンサルタントである。評者の勤務先は2003年頃にジョンソン・エンド・ジョンソンに経営改善コンサルタントを受けた。その時の責任者が渡辺さちこさんであった。削減できた金額に一定の割合を掛ける契約で、その時は一定の効果が得られた。当時評者は、小児科部長兼副院長で、薬品入れ替えに関し米国人のコンサルタントのインタビューを受け、さすが

外資はグローバルと思われた。その米国人は元々は薬剤師で、余った時間に、米国の病院のレジデントと専門医の役割とドクターフィーに関し聴いた記憶が残っている。

一昨年に評者が院長に就任した時に、当時の事を思い出し、コストの改善に努めた。職員の協力により、首尾よく医療部門の黒字化にこぎつけたが、どんな有用な改善提案もコンサルタント任せでは結果が長続きしない教訓を得た。病院組織と職員個々が医療を行うMissionを自覚し、方向性を合わせなければ、どんな助言も生きてこないと言うことが、コンサルタントする著者の実感なのだろう。

本書に書かれている中身は、医療経営に携わる幹部のみならず、業務改善の取り組みをしている医療人には、職種を問わず役に立つ内容であり、一読をお勧めできる一冊である。

大阪府 保険医協会とは

大阪府保険医協会は、1947年に設立され開業保険医自らが運営する自主的な団体です。その目的は、開業医や勤務医が安心して良い医療を行なえるために、また国民医療の改善をすすめることをめざしています。具体的には、開業保険医の診療、経営や生活全般にわたる事業・サービス・相談活動を行なっています。現在、大阪では、開業医の約8割、5,362名、勤務医会員806名が加入しています。全国では、医科・歯科10万2千名以上の方が加入しています。

勤務医の方には、保険医協会の優れた共済制度や開業を考えている方への「開業準備相談」などをすすめています。

勤務医会員の入会金10,000円 (1回のみ)、会費3,000円(月額)